

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	14 日	記入者	垣内 博久
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	権現堂古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1978年(昭和53)3月28日				
所在地	御所市樋野				
所有者 管理者	樋野区				
員数	1基				
時代区分	6世紀前葉				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	老朽化が見られる。				
公開	内部は原則非公開(鍵は樋野区自治会長が管理)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	看板・案内板が傷んできている。1988年(昭和63)に石室を実測調査した後、設置された補強鉄枠に傾きが見られる。				
今後の課題	樋野区自治会が管理しており、神社の清掃時に掃除ぐらいは行っているとのこと。羨道を埋めている土砂の撤去や石棺内部の枯れ葉等の清掃、看板類やとりわけ補強鉄枠の補修が必要。樋野区所有であり誰が行うのが課題。(募金箱が設置されている)				
その他 (由緒など)	樋野の氏神、天安川神社の境内にある円墳で、片袖式の横穴式石室。羨道は埋もれ、破壊された玄室の奥壁から出入りする。二上山産凝灰岩製の刳抜式家形石棺。内部に石枕が刳り抜かれているのが珍しい。南東枕で埋葬。神社境内に別の石棺一個体分が散在しており、元はこれが奥壁寄りにあった初葬の棺。被葬者は巨勢氏の盟主。				
コメント	今回は自治会長にお願いして石室内に入れました。石棺の朱も残っており、羨道の土砂を撤去し補強鉄枠も修理して現在の状態を残してもらいたい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

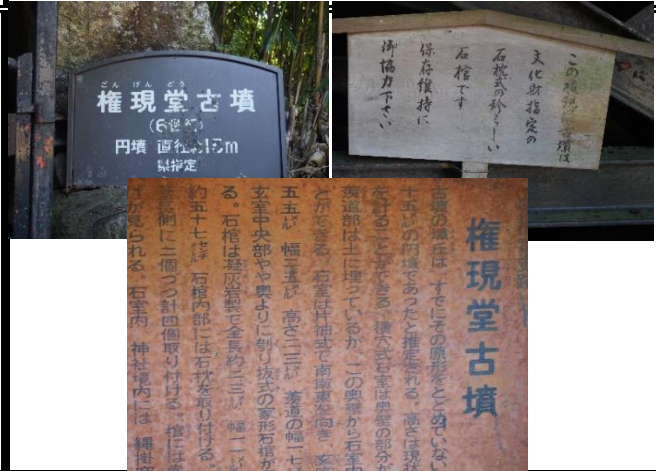
調査日	2020年	10月	14日	記入者	垣内 博久
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	権現堂古墳
------	-------

登り口から全景



看板・案内板・説明版



正面(奥壁側)から



内部(奥に石枕)



奥(羨道側)から



羨道

